

第23回 全日本学生選手権クリテリウム大会 大会要項

V20210524

主催 日本学生自転車競技連盟 / 自転車月間推進協議会

主管 日本学生自転車競技連盟

協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社パールイズミ WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

大会日程 2021年5月30日(日) / 2021年5月27日(木) チーム代表者 Zoom 会議 20時より

7:00~7:30 選手受付(ライセンスコントロールはwebで行い、ゼッケン・プレート配布のみ)

8:00 競技役員・立哨役員打ち合わせ

8:30 立哨配置開始

9:15 男子スタート

9:20 女子スタート

10:30 競技終了

11:30 表彰式

14:30 立哨員解散(予定)

会場 東京都品川区八潮 大井埠頭周回コース 1周 7km

大会主旨 本大会は、当該年度の日本学生自転車競技連盟(以下、「本連盟」という)に登録した全国の学生選手によるクリテリウム優勝者を決めるとともに、2020年東京五輪に向けて若手選手(学生)の活躍の場を提供することで、学生競技力向上に寄与し、ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)を観戦する一般観客に学生スポーツを周知する大会とする。また、参加学生競技者においてはトッププロの走りを間近で見る機会を提供し、競技に対する意識を高め、自転車競技の振興と競技力向上の一助とする。

競技種目 クリテリウム 男子 6周回(42km)、女子 4周回(28km)

参加資格 1. 当該年度に有効な、(公財)日本自転車競技連盟(以下、「JCF」という)登録競技者のうち、本連盟加盟校の登録選手であること。男子はロードカテゴリ1および2の競技者で最大120名とし、参加申込者数が120名を超えた場合、下記の順で参加者を選出する。当日不出走の選手がいても繰上げは行わない。

(1) 本年度ロード・クラス1の者

(2) 前年度の2020全日本大学自転車競技大会のロード競技で完走した者

(3) 前年度の2020全日本学生個人ロードレース大会の決勝で完走した者

(4) 本年度ロードカテゴリ・クラス2要件④(新一年生)該当者

(5) 上記にて定員に達しない場合、本年度ロード・クラス2の者で前年度RCS第1戦、第2戦、第3戦の順に成績上位から一人ずつ選ぶが、第1戦の同位に第2戦の該当者がいない場合は第3戦に、第3戦にも該当者がいなければ第1戦の次の順位へと進む

2. 下記の選手数に応じた最少立哨役員数の供出を参加のための必要条件とする。

参加選手数	供出立哨役員数(東京及び隣接県の学校)	供出立哨役員数(左記以外)
1	1	1
2~3	1	1
4~5	2	1
6~7	3	1
8以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て・最低数)	選手4名につき1名 (同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約30カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員には日当・弁当を支給する。上記の最少立哨員数以上の立哨員であっても、支給の対象とする。立哨役員供出が必要となるチームは立哨員氏名、性別、学年又は年齢および有資格のライセンス番号をエントリー用紙に必ず記入すること。

(※注)立哨役員については、学連大会終了後、ツアー・オブ・ジャパン本戦においても同配置にて立哨執務を行うことを必要条件とする。

3. また、参加選手、立哨役員およびチームスタッフは体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードし、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録して当連盟から当該データの提出を求められた際に速やかに提出できるようにすること。

4. 別途本連盟より発表の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」を順守し、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナ罹患を疑われる場合には、それが故意であるかにかかわらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。

5. 尚、本大会参加選手、立哨役員並びにチームスタッフについては、PCR検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを当連盟まで報告することを参加条件とする。本大会開催当日までに報告がない場合はその選手並びにチームスタッフの参加を認めない。PCR検査の結果報告の方法についての詳細は別途発表するコミュニケを参照すること。

6. エントリー用紙に記入した立哨役員名を変更する場合は、大会開催3日前の5月27日(木)22時まで
に事務局宛に変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降の立哨役員の変更は認めない。尚、
変更後の立哨役員の体調・体温の記録も同様に提出可能にし、PCR検査を行い、当日までに陰性もしくは
低リスクであることを当連盟まで報告することを条件とする。尚、詳細については別途発表するコミュニ
ケを参照すること。また、立哨役員が当日の急な発熱等、体調不良により参加不可能な場合には、代わり
の者を供出すること(代わりの立哨役員の体調・体温について提出可能にすること及びPCR検査を受け
て大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とし、代わりの立哨役員を出せ
ない場合には、該当する大学・チームに対して、1名の不足につき10000円のペナルティを科すことを
原則とする)。但し、新型コロナウイルス感染の陽性者が出たことで、一部もしくはすべての出場者が欠場するな
ど場合は、至急事務局まで連絡すること。立哨役員についての対応を協議した上で改めて指示する。

- 参加申込
1. 参加を希望する選手は、学校、チーム単位で所定の様式にて4月30日(金)までに日本学生自転車競技
連盟宛に申し込むこと。エントリー専用電子メールアドレス(2020jicf.championship@gmail.com)へ
の到着をもって参加申込の正式受領とするが、同一内容を郵送もしくはFAXにて事務局宛に期限内に
送付すること。申込書式はJICFウェブサイトより入手できる。なお、大会当日受付でのライセンスチ
ェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像デー
タをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデ
ータを添付すること。
 2. 参加申込者数が120名を超えた場合には、上記の参加資格1.の方法により選出を行い、本連盟HP上に
120名の参加申込可能者のリストを掲載する。参加申込可能者は本連盟HPで発表する期日までに、下
記の口座へ参加料を振り込むことで、本エントリー手続きが完了する。なお、120名の参加申込可能者の
リストが掲載されるか、または申込者全員が参加申込可能者である旨の発表があるまで参加料を振り込
んではならない。男女とも振込期限はその発表の際に指定するので、それ以前に振り込まないこと。
 3. 参加費は1名につき5,000円とし、参加料の送金は銀行口座振込とする。送金名義人について、振込元
に大会コード0530と、XX大学等、必ず学校名を記入すること。
振込口座：長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9683745 口座名：日本学生自転車競技連盟
参加料振込完了後、受付完了者リストを本連盟webサイトに発表するので、各自受付済みであることを確
認のこと。

4. 一旦入金された参加料は如何なる理由があろうとも返金しない。但し、新型コロナ関連の影響で本大会の
開催を当連盟が中止した場合には、大会開催に要した経費を差し引いた金額を銀行振込で返金する。返金
用の銀行口座をエントリー用紙に記入すること。また、上記の参加資格にあるように当日の体調不良や新
型コロナ対策の履行を妨げるにより参加不可の判断を下された場合には参加料は返却しない。
5. 尚、本大会における欠場については、理由を問わず(怪我等の正当事由がない場合でも)ペナルティを課
さないこととする。ただし、必ず事前に事務局(jicf@remus.dti.ne.jp)まで電子メールで欠場の連絡を
すること。また、当日の発熱等、体調不良により欠場する場合は、受付開始までに学連携帯090-2207-
2369へ必ず連絡をし、事務局までメールをすること。なお、欠場の場合は参加料は返却しない。

- 会場入場
1. 本大会の会場への入場者に対する規制(管理エリアの指定と管理エリアに入場できる対象者など)につ
いては、別途発表するコミュニケを参照すること。なお、大会に来場する全ての選手、チームスタッフ、メ
ディア関係者、その他の関係者はPCR検査を受け、当日に陰性もしくは低リスクであることを当連盟に
報告することを入場の条件とする。当日までに陰性もしくは低リスクであることを証明することができ
ない場合は、そのチームスタッフ、メディア関係者、その他の関係者の入場は一切認めない。詳細につ
いては別途発表するコミュニケを参照すること。
 2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がス
タッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ1名を上限として会場への入場を許可する。尚、監督と
コーチはスタッフの合計人数に含まれる。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大2名までとす
る。また、チームスタッフの選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入すること。氏名の記入
がない場合には、会場への入場を許可しない。
さらに、チームスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」
に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておくこと。当連盟から当該データの提
出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のチーム
スタッフの氏名を変更する場合は、大会開催3日前の5月27日(木)22時まで当連盟事務局宛てに変
更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めない。尚、変更後
のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすることおよびPCR
検査を受けて大会当日までに陰性もしくは低リスクであることを報告することを条件とする。
 3. メディア関係者は、来場する場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催3日
前の5月27日(木)22時まで取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また、選手の参加資格
4.にありますように当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報
に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日
前からの体調・体温についての記録を記入して大会当日に大会本部に提出して頂く必要があるとともに、
PCR検査を受けて大会当日に陰性もしくは低リスクであることを証明することができるようにするこ
とが必要です。証明することができない場合は、競技場内への入場をお断り申し上げます。選手及び競技
役員の方の安全のためご理解ください。

- 選手受付
1. ライセンスコントロールは事前にデータ上で行い、大会受付の現場では行わない。別途コミュニケ発表の
受付場所にてゼッケンとプレートを受け取ること。
 2. 本大会は出走前のバイクチェック、出走サインは行わない。レース終了後に上位者およびランダムサン
プ

リングによりバイクチェックを行うことがある。器材に関する規則違反が明らかになった場合、レース終了後であっても、失格となる場合がある。

- 賞典・式典 1. 開会式・閉会式は行わず、表彰式のみ行う。表彰式は第3位以上のみ競技終了後、準備が整い次第TOJ特設ステージにて（予定）行う。
2. 男子選手は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、2・3位には賞品、賞状を、4位から8位までに賞状を授与する。
3. 女子選手は、優勝者にチャンピオン・ジャージ、賞品、賞状を授与し、第3位以内に賞品、賞状を授与する。
- 事故措置 1. 競技中発生した事故等について、主催者にて応急処置の範囲の体制は準備するが、以降は各自の責任と費用負担に おいて対応のこと。
2. 各選手は、各自の責任において傷害保険に加入し、健康保険証を必ず持参すること。
- 競技規則 JCF競技規則による他、詳細は本大会特別規則を定め適用する。
- 事務局 日本学生自転車競技連盟 E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 408
Tel 090-2207-2369（兼当日緊急連絡先） Fax 03-6804-2329

第23回 全日本学生選手権クリテリウム大会 特別規則

第1条（競技）

1. 男子は完走周回数と、中間スプリントで与えられる得点を基に最終順位を決定する。周回数において同等の場合は、得点の多寡による。周回、得点において同等の場合は、中間スプリントの勝数による。以上においても同等の場合は、最終スプリントの順位による。中間スプリントとして、男子については毎周回、フィニッシュラインを通過した先頭から5点、3点、2点を与える。最終ゴールは通常の2倍の得点を与える。
2. 女子は、最終周回の着順によって順位を決定する。
3. 飲食料の補給は認めない。
4. 代車（バイクチェックを事前に受けること）、代輪の交換は認められる事故の場合に別途コミュニケーションの指定箇所のピットにおいて可能とするが、基本的に各チーム1名のみでの待機とし、チーム同士の間隔を審判役員の指示した通りにあけること。
5. 競技役員により確認された認められる事故の場合、最後の2周回を除き1周のニュートラリゼーションが与えられる。

第2条（失格・棄権）

1. 原則としてメイン集団より約1分間以内にフィニッシュできないとコミッサーにより判断された選手は、失格とする。
2. 競技を中止した選手は、周囲の安全確認のうえコースを出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第3条（その他）

1. コース沿道の移動は徒歩とし、自転車を持っての移動は観客との接触を十分に注意すること。
2. 指定された場所以外での食料の残り・包装等、あらゆる固形物の投げ捨てはコースの内・外、レース中・外を問わず固形物1点につき3,000円のペナルティを科す。
3. ジュニアのギア比の制限は翌年3月31日時点の年齢を以て適用する。レースの前後に適宜ギア比の検査を行うことがある。
4. 公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

※注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。